



がんばっている町民の方を紹介します。  
今回は、養基地区で粕川大鼓踊り保存会の発足から中心になって活動してこられた、細野勝さん(沓井)へのインタビューです。

### 1. 粕川大鼓踊りの由来は？

粕川太鼓踊り保存会のきっかけは、教如上人と、その父親の顕如上人をたたえた春日地区伝統の手踊りで400年の歴史があるが、担い手の高齢化などから継承が困難な状況でした。そんな中、養基地区や、池田町には大勢の春日出身の住民がおられますので、この人たちに呼びかけて伝統を後世に残そうと14年前に発足しました。



### 2. いまどんな活動しておられますか。

メンバーは現在高齢化が進んでおりますが、池田町、揖斐川町で三十数名が毎月第2木曜日夜八時から1時間半、養基公民館で練習しております。

発表の場として、熊野神社(沓井)祭礼の奉納踊り、養基公民館の文化祭、池田町のふるさと祭りなどに参加させていただいています。

### 3. これからどんな方向を目指しますか。

メンバーの高齢化の中で、地域の子ども達にも働きかけ、この地域の伝統芸能につながればありがたいことです。

会員のモットーは、楽しく踊り喜びのもてる交流が出来れば最高です。

(遠藤和雄)

## 編集後記

新年度になり編集委員会も新しいメンバーに代わった。東日本大震災が発生して一カ月が経つ。死者が一万三千人を超え、行方不明者は一万四千人以上。震度4以上の余震も多発し落ち着かない。おまけに福島原発の放射能汚染。地震の緊急通報システムや津波警報が瞬時に発表されたにも関わらずこんなに多くの犠牲者を出した。どこに原因があるのか。また、原発の被害は、当初は「たいした事ない」と言っていた



土川 博 遠藤和雄  
窪田弘子 野網義一 坂口 博

のに、今ではチエルのレベル？。ここには二つの問題がある。一つは情報を提供していただけない事、もう一つは、正しい情報を伝えなかつた事。住民参画・協同のまちづくりにとって貴重な教訓となった。広報編集委員会として情報公開に努めます。

(野網義一)

### 寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催し物へ差し入れることを禁止されています。  
有権者が求めてもいません。  
ご理解をお願いします。